

Open Forest in Matsudo 2013

森へ ようこそ!

オープンフォレスト in 松戸
ガイドブック

森の中で何が見つかるかな？
何をかんじるかな？
楽しいことや発見があるかな？

小さいけれど本物の森で、
楽しいひとときを・・・
森の風を感じて、
心を開放するひとときを・・・



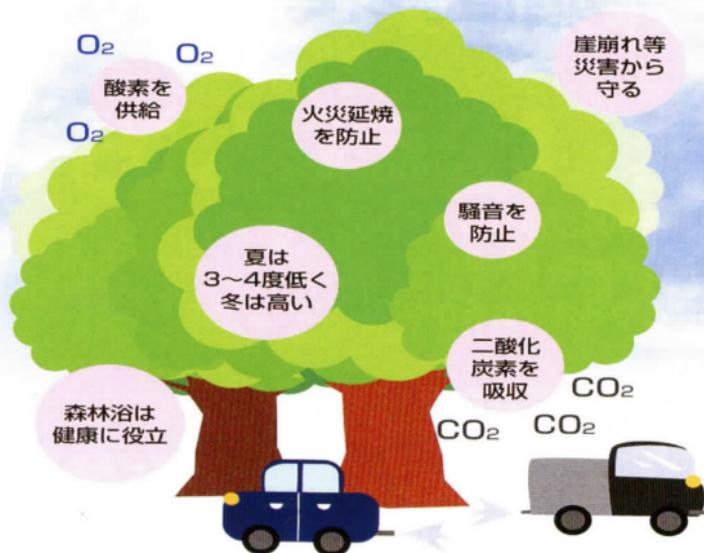
矢切の斜面林

森って いいよね

わたしたちは森の緑を目にしたり、鳥のさえずりを耳にしたりすると心が癒されます。森は空気をきれいにし、夏には涼しい風を生み、小鳥や虫たちの生きる場所でもあります。虫捕りをしたり、ドングリをひろったり・・・子どもたちにとって楽しい遊びや体験の場でもあります。



森林のはたらき



松戸の里山は・・・



かつては人々の暮らしのすぐそばに森がありました。家を建てたり道具を作ったりする木材を得る場、肥料や生活の燃料を得る場として大切にされていました。

このような樹林地を「里山」といいます。適度に人手が入ること

で豊かな環境がもたらされ、いろいろな生きものが生息してきました。

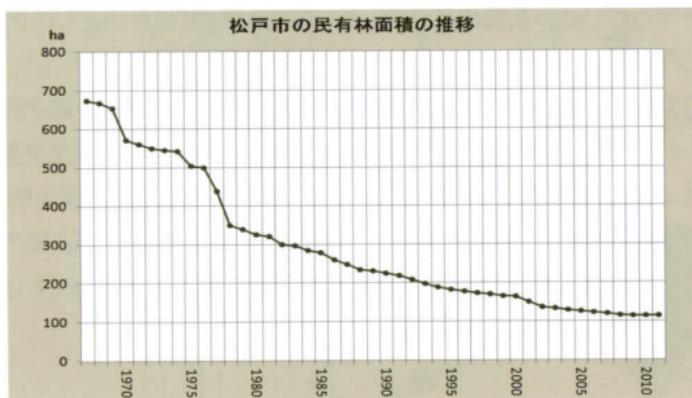
しかし今、暮らしのために使われる機会がなくなった森は、手入れが行き届かずうっそうと茂り、暗くて危険な場所と言われる、かつていた生きものたちも少なくなったりしています。



松戸に残る農村風景

松戸の樹林地の変化

2005年度の調査によると、松戸の樹林地は255haで、市域の4.2%しかありません。千葉県統計では、松戸市の森林率は県内で下から4番目です。特に一般の民有山林(公有地や社寺林など以外)は、60-70年代に3分の1に急減し、近年も少しずつ減り続け、2011年度ではわずか113ha(1.9%)となりました。



所有者の現状

先祖から引き継いだ森を、そのまま残したいという思いで持ち続けていても、今では何の経済的価値も生み出しません。そればかりかゴミの不法投棄や近隣住民からの苦情など、苦労が大変多いのです。仕事を持っていたり高齢だったり、思うように森の手入れができていない状況です。



森の中には不法投棄のゴミが散乱



ボランティアによる植樹

みどりの市民力

森の維持管理に少しでも役に立てればと、毎年実施されている「里やまボランティア入門講座」の修了生が、所有者の理解/協力と行政の応援を得て森の整備活動を始めています。「関さんの森」や「根木内歴史公園」などでも市民ボランティアが頑張っています。

行政の取り組み

松戸市は、2000年の「緑の条例」改正以来、森の所有者や市民と手をたずさえて緑を守る取り組みを強めてきました。その指針が「松戸みどりの市民憲章」(右ページ)です。

市民との協働で「里やまボランティア入門講座」を毎年実施し、森の所有者とボランティア団体との間をとりもつなど、市民力による里やま保全活動を支援してきました。また、市内の樹林地について、緑の条例による「保全樹林地」「特別保全樹林地」の指定を推進し、重要な樹林地については都市緑地法に基づく「特別緑地保全地区」に指定し、将来に渡って保全しています。(現在、矢切、栗山、幸谷の3地区)

森は宝もの

都市部に残されたわずかな森は今や“地域の宝”です。その森を守るには市民の理解と協力が欠かせません。みんなで地域の森の現状を知り、森を守る意義や課題などを一緒に考えていきましょう。



幼稚園から森へ、お散歩

そして・・・「オープンフォレスト in 松戸」の開催

「緑はたいせつ」「これ以上森が減らないといいね!」「森がもっとステキになるといいね」そんな想いを持った市民、所有者、行政が、共に考え協力してきたことで、「ボランティアによる森の整備活動」が広がってきています。皆さんに、森に来ていただき、森を身近に感じて、森を守る意義や課題、活動などを理解していただけたら…と、昨年から実施しています。緑を愛する多くの市民の理解と協力で、都市の樹林地が未来の子どもに引き継がれ、良好な環境として存続していくことを願っています。

実行委員一同

松戸みどりの市民憲章

私たちのまわりには、樹木、草花、水、土、空そしてさまざまな生きものから構成されるみどりが存在しています。私たちは、自身と輝かしい未来を担う子どもたちの幸せのために、これまで育まれてきたみどりの財産を分かち合い、守り育て、豊かにしていきます。そのために、市民・企業・行政の三者が、それぞれの立場において、みどりのもたらす恵みに想いを寄せ、自覚と責任、対話と協働に基づいて行動します。

1. 松戸市民はみどりと暮らす豊かさを大切にします。
1. 千年来のみどりの声に耳を傾け、百年後のみどりを育てます。
1. 子どもたちの夢とあそびを受けとめるみどりをいっぱいにします。

平成16年10月1日制定

松戸の森の自然



スタジイやシラカシなどの木の葉を食べて育つ(ムラサキシジミ)



シジュウカラ1羽が1年で食べる虫は10万匹とが



生態系ピラミッドの一番上のタカやフクロウには森の大きな木と餌になる小動物が必要



アケビの葉を食べて育つアケビコノハ(蛾)の成虫は枯葉そっくりで敵が来ると下翅の目玉模様を見せて威嚇する



水辺で育つトンボも成熟するには森が必要



エノキなど木の葉を食べて育つチョウ(コムシジ)



嫌われがちだがクモも大切な自然の一員



木の実の小鳥たちの栄養となる代わりに、小鳥たちに種まきをしてもらう



シガバチは子の餌にイモムシを運ぶ



ササを食べるササキリ



春にウグイスの声を聴くには森の木やヤブ、餌になるたくさんんの虫が必要



森の生態系・・・いろいろいるから森なんだ！

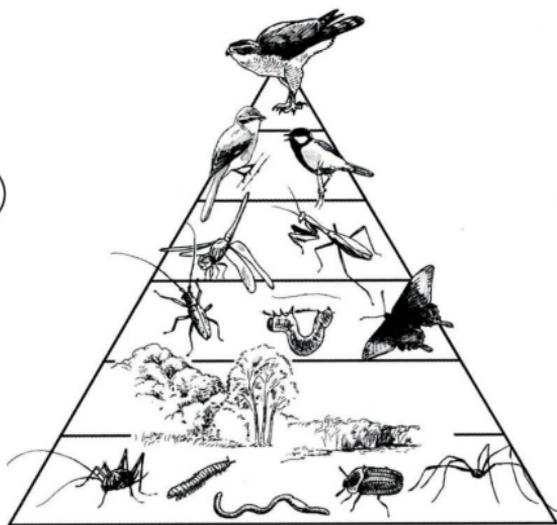
木がたくさんあるだけでは森とはいえません。背の高い木、背の低い木、樹の下の草やコケ、落葉の層、フカフカの土、そしてそこにたくさんの生き物がいきていて、初めて“森”と呼ぶことができるのです。

命のつながり・・・嫌われ者も役立っています！

森には、【木や草】→【蛾の幼虫】→【カエル、カマキリ、小鳥】→【オオタカ、フクロウ】のように、“食う食われる”の命のつながりがあります。

落葉や枯れ枝、動物の死骸や排泄物を分解する生き物も含め、不要なものは何ひとつありません。蛾やクモなどヒトからは嫌われがちな生き物も棲むことで小鳥たちも子育てできるのです。

豊かな緑と たくさんの
小さな生き物たちが、
森の自然をささえているのです



生態系ピラミッドの例

松戸の里山活動のあゆみ

さきがけは「関さんの森」

松戸市幸谷に樹林地を所有する関家は、1994年当主関武夫さんが亡くなり、相続問題に直面しました。こよなく自然や生き物たちを慈しんだ先代の遺志をくみ、遺族は森をなんとしてもそのままのこすために、公益法人に寄贈する道を選びました。

またその森を保全するため、市民グループ有志が「関さんの森を育む会」を設立し、活動をスタートしました。民有林にボランティアが入るという、市内では初めてとなる里山活動のモデルケースとなりました。



市民と行政の協働で「里やまボランティア入門講座」

樹林地の減少を何とかくい止め守りたいという思いは、市民、所有者、行政共通のもので、2002年森の所有者は「松戸ふるさと森の会」を設立しました。また行政も2000年、条例に基づき「緑推進委員会」を設け、この委員会が、2003年10月に「里やまボランティア入門講座」を開催しました。その後は市民と行政が協働で10年間継続して実施しています。

ここに市民、所有者、行政の間に、森を守るための具体的な行動につながるネットワークができあがりました。



一緒に考え行動する人が集う「松戸里やま応援団」

「里やまボランティア入門講座」第1期修了生たちは「松戸里やま応援団・一起の会」をつくり、「松戸ふるさと森の会」の会員が所有する森に入り、活動を開始しました。その後各年度の講座修了生たちは各々が会をつくり、2012年末まで9グループが誕生、市内各所の森で精力的に里山活動を行っています。



徐々に大きなネットワークになった松戸里やま応援団ですが、より連携を深めるため、2008年に「連絡会」を設け定期的に意見交換や協議をおこなっています。そしてこの連絡会が、次項で紹介するオープンフォレスト開催の推進母体になったのです。

オープンフォレスト in 松戸の開催へ

2010年の春ごろ「個人の庭を公開するオープンガーデンがあるのなら、森を公開するオープンフォレストをやったらどうだろう？」という一人のつぶやきから、ことは始まりました。

森を公開する、しかも十数か所もの民有林を一斉に。ほとんど聞いたことがない大イベントですが、各森でそれぞれがイベントや市民交流を行った実績もあり、ともかく前に進もうとオープンフォレスト in 松戸 2011の準備がスタートしました。

しかし、ようやく体制も整いよいよという最終段階の2011年3月に東日本大震災が発生。残念ながら開催は延期になりました。そして1年後、待ちに待った5月、オープンフォレストがスタート。9日間で森への来場者は延べ2,000名を超え、大成功を収めました。



松戸の里山に関するグループや団体など

今回オープンする森で活動しているグループ以外にもさまざまな人たちが緑を守る活動や仕事をしています

松戸ふるさと森の会

「残された緑を守り、貴重な自然環境を次世代に引き継ぎたい」と願う山林所有者の団体。平成14年5月に結成。都市環境保全林に関する国への陳情、視察研修会、近隣市の山林所有者との情報交換、里やまボランティア団体と連携した森林保全活動など。
(連絡先: みどりと花の課)

松戸里やま応援団連絡会

毎年開催される「里やまボランティア入門講座」の修了生が設立した里やま活動団体の連絡組織で、現在9団体が参加。共通する課題の協議の他、里やま活動の技術・知識を高めるためのステップアップ講座を実施している。

金ヶ作の森を育む会

2002年から金ヶ作にある三吉の森で活動してきたが、現在森での活動は休止中。里やまボランティアグループの育成にも関与してきている。

(連絡先: 090-2935-9444 高橋盛男)

里やまQ

会員数10名程度と少数だが、縁を大事に、目下いろいろな森を訪問するなど、お手伝や研鑽に努めながら楽しく活動中。今年中に活動の基本を決めたいと思っているところ。

(連絡先: 047-331-0166 青木光男)

緑のネットワーク・まつど

樹木の保護・保全を願う人やグループと連携しその輪を広げ、豊かな生態系を保つ森を次世代に伝えることを目的に、2000年に発足。市内の樹林地などを観察・学習するツアーを年4回実施。毎月定例会を開く他、市内のみどりに関する情報を掲載した通信を発行している。

(連絡先: 090-2935-9444 高橋盛男)

関さんの森エコミュージアム

長い時間をかけて形成されてきた関さんの森の自然と歴史遺産をそのまま保全し、所蔵されている古文書を発掘・整理し、屋敷林・梅林・関家の庭・蔵・熊の権現や広場・農園全体を、生きた形で自然や文化を体験学習する場として整備・活用することを目指している。

(連絡先: 090-9156-4960 木下紀喜)

千駄堀を守る会

市内で最も自然が残る千駄堀地域(現「21世紀の森と広場」)の豊かな生態系を守るために作られた自然保護団体。公園の建設時(25年前)から、要望活動などをしてきた。毎月第四日曜日(公園中央口9時集合・雨天決行)に自然観察会をおこない、動植物の記録を残している。

(連絡先: 090-4667-0209 山田純穂)

松戸市みどりと花の課

「樹林地や巨樹古木の保全等緑の保全」「公共緑地等管理(公共樹林街路樹など)・民有地緑化、市民参加緑化、市民農園」「緑のボランティア育成等緑化推進」を担当。

(連絡先: 366-7378)

松戸市公園緑地課

「公園緑地の運営及び維持管理」「公園緑地の新設及び改良」「公園緑地調査及び計画」を担当。根本内歴史公園と東松戸ゆいの花公園でみどりや花の市民協働事業を行っている。

(連絡先: 366-7380)

松戸市緑推進委員会

緑の保全及び緑化の推進に関する基本的事項を調査審議する市長の諮問機関。また、自らが提案した施策について、アクションプランを作成し試行している。委員15人中6人は一般市民からの公募で選任されている。第一回の里やまボランティア入門講座を実施した。

(連絡先: みどりと花の課)

みどりの行動会議

松戸市みどりの市民憲章を普及・定着させることをめざして活動する団体。これまで、「木や花に名札をつけよう」「みどりのマップづくり」「松戸のみどり再発見ツアー」などを行っている。

(連絡先: みどりと花の課)

(公財)松戸みどりと花の基金

市民の自発的、積極的な参加で都市緑化を進め、緑豊かな潤いと安らぎのある健康的で住みよいまちづくりの推進を目的として、平成2年3月設立。個人・団体の賛助金や寄付金を集め、みどりと花のフェスティバルやみどりと花のコンクールの開催、緑化愛護団体への助成などを行っている。

(事務局: 345-9846)

オープンフォレスト in 松戸 実行委員会

「松戸ふるさと森の会」と市内の里山活動団体等で構成。オープンフォレスト in 松戸は、実行委員会と松戸市の共催。

(事務局: 090-1209-2254)



はじめは里やまボランティア入門講座



森の記念日には森で乾杯!



森の活動

森の整備活動
仲間を育てる体験講座
スキルアップの講習会
地域との交流
子どもたちの自然体験...

お年寄りとの交流



楽しいクラフト
やイベント

楽しい美味しい 手作り流しそうめん





朝のミーティング



知恵と力を合わせて。ヨイショ!

森の活動は
さまざま

炭焼き



伐ったり...



安全講習会



植えたり...



育てたり...

あなたも森の仲間になりませんか？



森のご案内

共催：オープンフォレスト in 松戸実行委員会・松戸市

実行委員会：実行委員長・柳井重人

松戸ふるさと森の会、松戸里やま応援団一起の会、同囲いやま森の会、同三樹の会、同四季の会、同里やまV・千駄堀、同小浜の森の会、同七喜の会、同八輝の会、同里やまQ、松戸里やま応援団、河南環境美化の会、金ヶ作の森を育む会、関さんの森を育む会、溜ノ上レディース、根木内歴史公園サポーター・根っ子の会、緑のネットワーク・まつど

後援：千葉県、(公財)都市緑化機構、(公財)松戸みどりと花の基金、松戸市教育委員会、松戸市緑推進委員会、(学)東京聖徳学園 聖徳大学、松戸まちづくり交流室テント小屋、新京成電鉄株、北総線沿線地域活性化協議会

公開する森



■幸谷・根木内地区

- ① 関さんの森
- ② 溜ノ上の森
- ③ 根木内歴史公園

■千駄堀地区

- ④ 芋の作の森
- ⑤ しんやまの森

■八ヶ崎・金ヶ作地区

- ⑥ 八ヶ崎の森
- ⑦ ホダシの森
- ⑧ 困いやまの森
- ⑨ 三吉の森
- ⑩ 立切の森

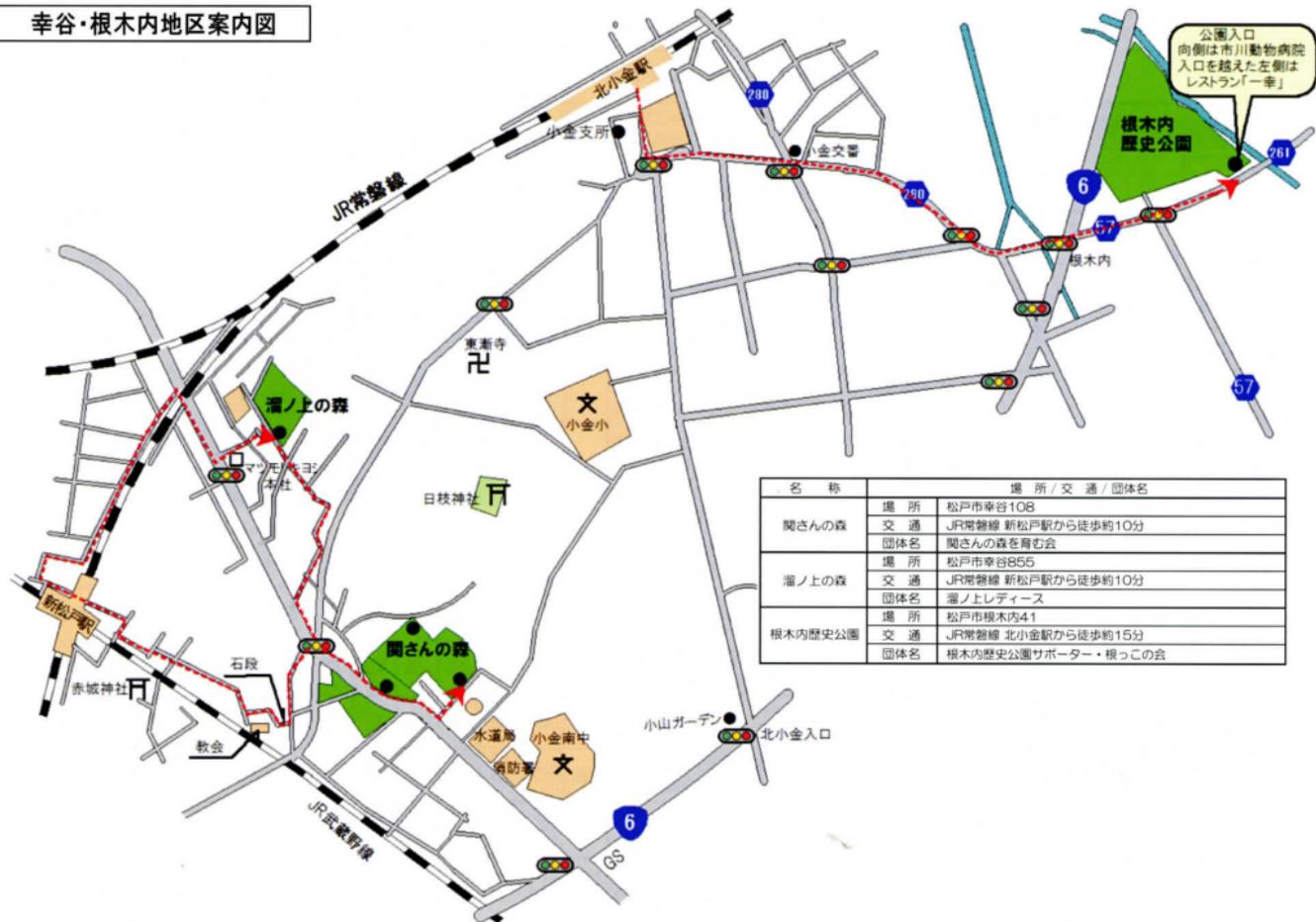
■秋山・高塚地区

- ⑪ 秋山の森
- ⑫ 河原塚古墳の森
- ⑬ 小浜屋敷の森
- ⑭ 紙敷石みやの森

森で出来ること (◎は公開日で公開時間：10時～15時)

名 称	公開日	5月									森で出来ること	
		18	19	20	21	22	23	24	25	26		
幸谷・根木内	① 関さんの森	○	◎	○	○	○	○	○	○	◎	○は、森を自由に散策出来ます。案内人はいません。 ◎は、関さんの自宅の庭、蔵、門や熊野権現のガイド	5/21(火)自然観察会 新松戸駅10時集合 →幸谷観音→関さんの森 参加費200円
	② 溜ノ上の森	○	◎	○	○	○	○	◎	○	○は、自由に散策出来ます。案内人はいません。 ◎は、森のプランコ、ハンモック、輪投げ、竹ばっくりなど		
	③ 根木内歴史公園	○	◎	○	○	○	○	◎	○	◎	◎は、公園に案内人がいます。 ○自由に散策出来ます。	
千駄堀	④ 宇の作の森		◎				◎			◎	森の自然観察 森の中や周辺の森をご案内、樹木解説	
	⑤ しんやまの森		◎							◎	森の自然観察 森の中や周辺の森をご案内、樹木解説、樹木に名札付け	
ハヶ崎・金ヶ作	⑥ ハヶ崎の森		◎			◎				◎	お花見散策にのんびりハンモック。 竹バッキリ作りや丸木伐り、ロープ遊びなど	5/22(水)森のご案内 常盤平駅10時集合 →囲いやまの森 →ホダシの森 →ハヶ崎の森 →21世紀の森と広場 森の文化祭
	⑦ ホダシの森		◎							◎	ハンモックで癒しの一時を、素人紙芝居、5目並べや13・9路盤で子供囲碁教室、林間コースでグランドゴルフも！	
	⑧ 囲いやまの森		◎			◎				◎	常盤平北口から徒歩8分。ワグイス鳴く広い森で、ゆったりロープで木登りや綱渡り、ミニ木こり体験など	
	⑨ 三吉の森		◎	◎	◎				◎	◎	◎	自然観察(竹林、6本の市指定巨木めぐりを中心に、下草、昆虫、小鳥の観察)、ハンモックで森林浴、竹細工体験、竹馬遊びほか
	⑩ 立切の森		◎	◎	◎				◎	◎	◎	立切の森には「三吉の森」で受付後希望者をご案内
秋山・高塚	⑪ 秋山の森		◎				◎			◎	竹林の散策、癒し体験ほか	
	⑫ 河原塚古墳の森		◎							◎	1号古墳のご案内と説明(11時、14時) グランドゴルフなど指導員がついて実技講習、竹細工体験	
	⑬ 小浜屋敷の森		◎					◎			森の中をご案内、グリーンアドベンチャー 竹細工体験、のこぎりやチェーンソーを使った丸木切り体験	
	⑭ 紙敷石みやの森		◎				◎				森の自然観察、森の散策、癒し体験ほか	
森の文化祭 パークセンター2階		◎	◎	休 館	◎	◎	◎	◎	◎	◎	里やまボランティア団体などの活動紹介、森の工作展示、5/18(土)屋外展示と 草笛や竹工作体験(雨天中止)、13時パークセンター前から21世紀の森と広場ご案内	

幸谷・根木内地区案内図



名称	場所 / 交通 / 団体名
関さんの森	場所 松戸市幸谷108
	交通 JR常磐線 新松戸駅から徒歩約10分
	団体名 関さんの森を育む会
瀬ノ上の森	場所 松戸市幸谷855
	交通 JR常磐線 新松戸駅から徒歩約10分
	団体名 瀬ノ上レディース
根木内歴史公園	場所 松戸市根木内41
	交通 JR常磐線 北小金駅から徒歩約15分
	団体名 根木内歴史公園サポーター・根っこの会

幸谷地区

関さんの森【関さんの森を育む会】 幸谷 108（新松戸駅から徒歩 10 分）



住宅地に囲まれた約 2ha の里山空間。屋敷林、梅林、グラウンド、関家の庭などからなり、散策・学習・体験・癒しの場として活用されている。屋敷林(1.1ha)には湧水池もあり、常時開放。維持管理作業のほか、筍掘り、そうめん流し、フェスタなどのイベントを実施し、「エコミュージアム」としての整備を目指している。

（活動日：第 3 日曜日 10 時から 連絡先 090-9365-9608 武笠紀子）

溜ノ上の森【溜ノ上レディース】 幸谷 855（新松戸駅から徒歩 10 分）



関さんの森の飛び地、住宅にかこまれた小さな森。人々から愛される森、多様な生き物が住める森を目指して、自然が好きな女性中心にコツコツと整備をしている。明るい雑木林と竹林の中に散策路が設けられ、狭い割に植物の種も豊富。常時開放されており、保育園児もお散歩に来る。

（活動日：第 2 水曜日・第 4 金曜日午前 連絡先 080-5080-9910 渋谷孝子）

根木内地区

根木内歴史公園【根木内歴史公園サポーター・根っ子の会】 根木内 41（北小金駅から徒歩 15 分）



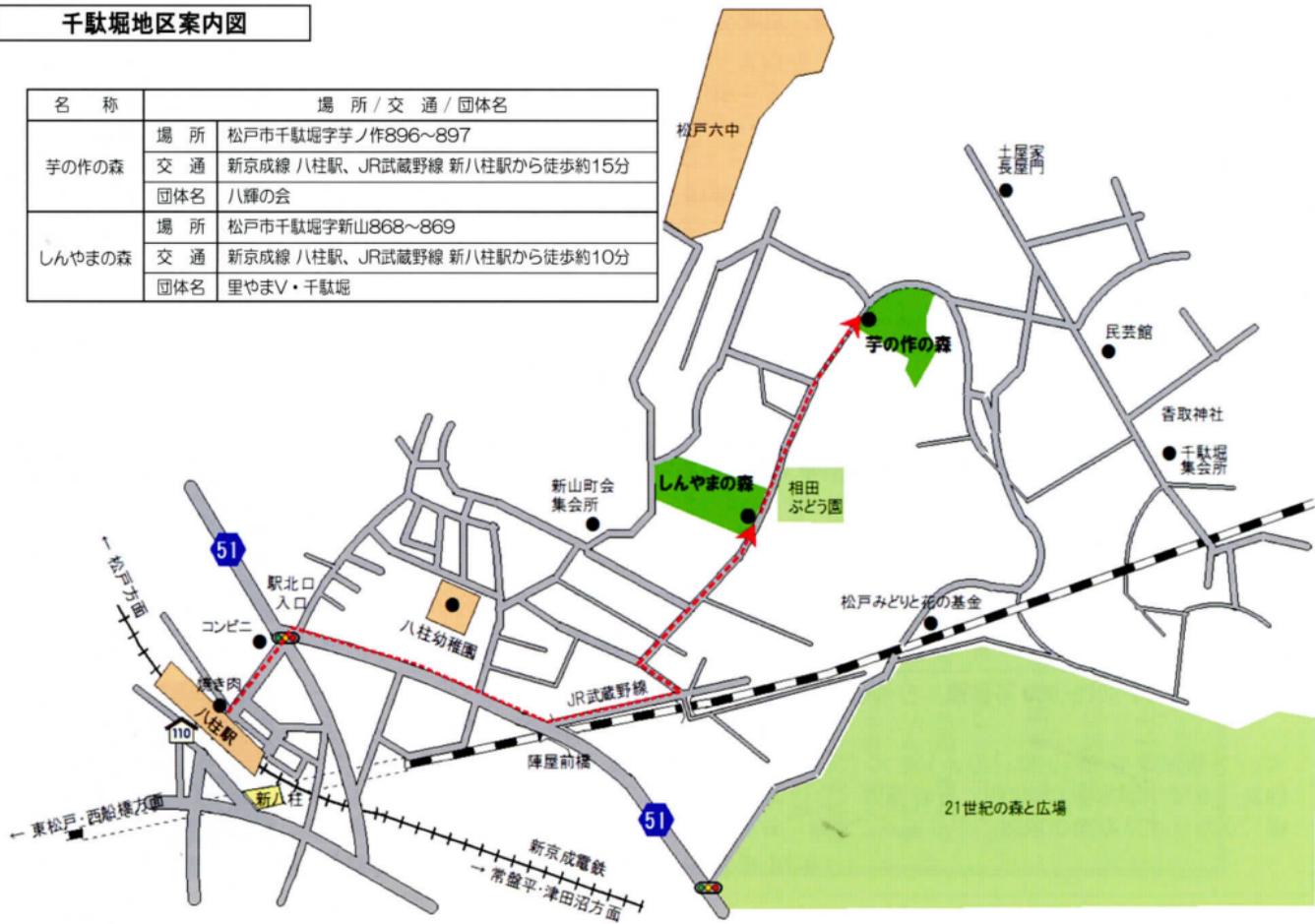
中世の根木内城の城跡で、空堀・土塁・土橋などの遺構がみられる。樹林の台地は芝生広場、上富士川沿いに湿地が広がり、自然豊かな歴史公園。湿地には希少植物がみられ、田んぼでもち米を栽培し、田植え・稲刈り・お餅つき・お楽しみイベントがある。

ザリガニ捕り、音楽会・写真展・夏休み工作づくり・虫ハカセになろう！を開催。

（活動日：毎週金曜日午前 連絡先 343-8041 三嶋秀恒）

千駄堀地区案内図

名称	場所 / 交通 / 団体名	
芋の作の森	場所	松戸市千駄堀字芋ノ作896~897
	交通	新京成線 八柱駅、JR武蔵野線 新八柱駅から徒歩約15分
	団体名	八輝の会
しんやまの森	場所	松戸市千駄堀字新山868~869
	交通	新京成線 八柱駅、JR武蔵野線 新八柱駅から徒歩約10分
	団体名	里やまV・千駄堀



千駄堀地区

芋の作の森【松戸里やま応援団 八輝の会】千駄堀字芋ノ作 896～897（八柱駅北口から徒歩 15 分）



松戸の緑の集積地 21 世紀の森に隣接する千駄堀地区に位置する、静かな樹林地。西・北面方向に傾斜し、杉林と雑木林に二分された林相が特徴です。活動日には森のオーナーさんとの交歓を楽しんでいます。

（活動日：第 2 月曜日・第 4 土曜日午前 連絡先 342-4937 高橋正博）

しんやまの森【松戸里やま応援団 里やまV・千駄堀】千駄堀字新山 868～869（八柱駅北口から徒歩 10 分）



平地部分と南西向き斜面林のある落葉樹林。大きなヤマザクラがシンボルツリー。周囲は森と畑にかこまれて、本来の里山の雰囲気はただよい、市の中心部とは思えない別天地。近隣町会とも連携して活動し、近くの幼稚園の子どもたちが訪れ、森体験を楽しんでいる。

（活動日：第 2 火曜日・第 4 火曜日午前 連絡先 080-1083-8141 大石愛祐）

八ヶ崎地区（地図は次ページ）

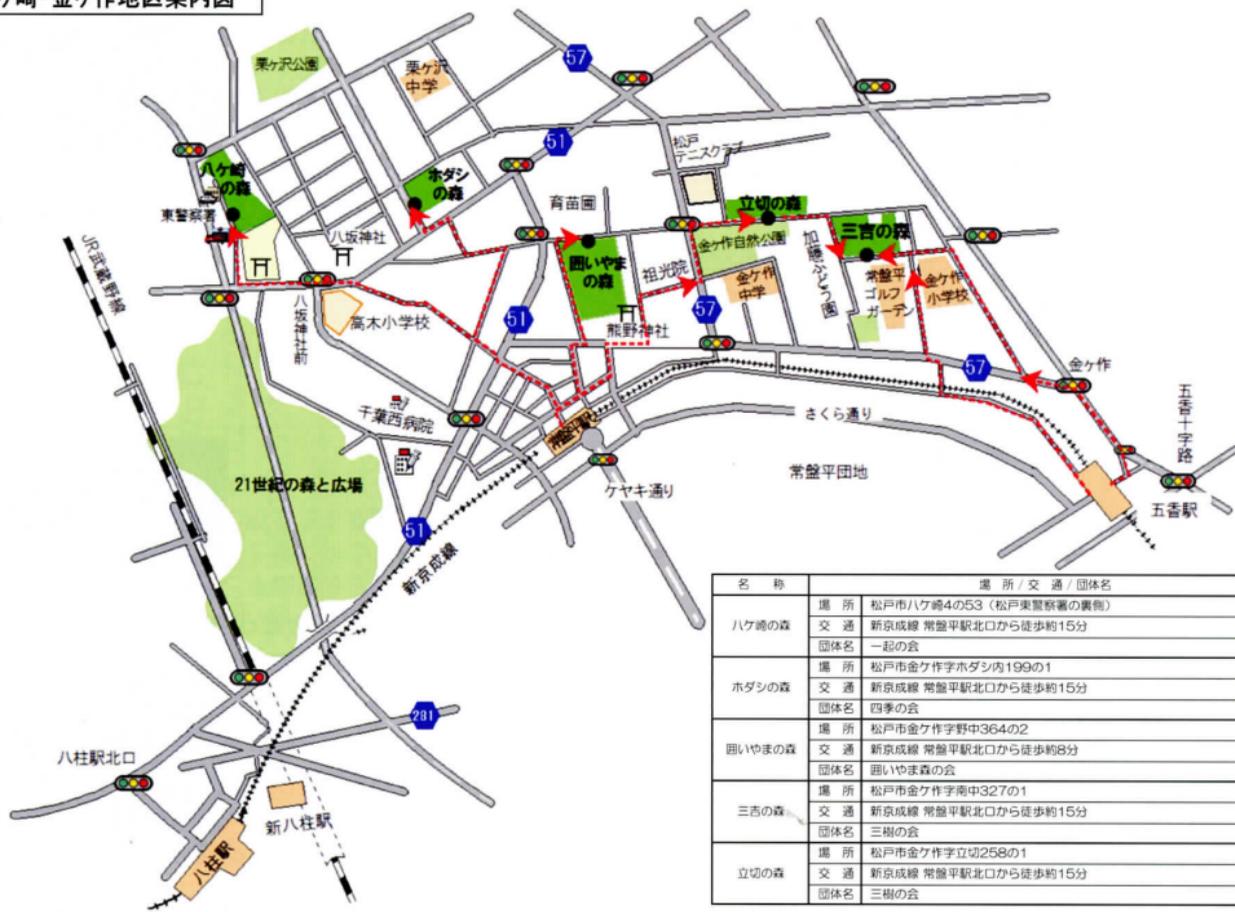
八ヶ崎の森【松戸里やま応援団 一起の会】八ヶ崎 4 の 53（松戸東警察署の裏側）



東向きの日当たりの良い斜面林。最近、森の半分近くが伐採されたが、地元町会にも協力いただき、植樹祭を開くなど、森の再生に取り組んでおり、地元にも愛される見て楽しい森づくりをめざしている。近くの保育園の子どもたちが訪れどんぐりを拾ったり虫を見つれたりして楽しく過ごすこともある。

（活動日：第 2 水曜日、第 4 水曜日午前 連絡先 090-9812-5614 佐竹道乃）

八ヶ崎・金ヶ作地区案内図



名 称	場 所 / 交 通 / 団 体 名
八ヶ崎の森	場 所 松戸市八ヶ崎4の53（松戸東警察署の裏側）
	交 通 新京成線 常盤平駅北口から徒歩約15分
	団体名 一起の会
ホダシの森	場 所 松戸市金ヶ作字ホダシ内199の1
	交 通 新京成線 常盤平駅北口から徒歩約15分
	団体名 四季の会
囲いやまの森	場 所 松戸市金ヶ作字野中364の2
	交 通 新京成線 常盤平駅北口から徒歩約8分
	団体名 囲いやま森の会
三木の森	場 所 松戸市金ヶ作字南中327の1
	交 通 新京成線 常盤平駅北口から徒歩約15分
	団体名 三木の会
立切の森	場 所 松戸市金ヶ作字立切258の1
	交 通 新京成線 常盤平駅北口から徒歩約15分
	団体名 三木の会

金ヶ作地区

ホダシの森【松戸里やま応援団 四季の会】金ヶ作字ホダシ内 199の1（常盤平駅北口から徒歩 15 分）



あまり広くはないが、落葉樹を中心とした明るい森。南側は、いろいろな種類の桜の園。四季の会は女性会員が多く、そのメンバーがどのような活動ができるかという実験の森でもある。隣の老人福祉施設「ひなたぼっこ」の入所者・家族と交流している。住居地に残る貴重な森として、“癒しの森の創造”に取り組んでいる。

（活動日：第 1 土曜日、第 3 土曜日午前 連絡先 345-5283 斉藤幸男）

困いやまの森【松戸里やま応援団 困いやま森の会】金ヶ作字野中 364の2（常盤平駅北口から徒歩 8 分）



杉林と雑木林、草地など約 2ha の森。生き物のために、森の半分は自然のままに残している。ウグイスやコジュケイが鳴き小鳥が飛び交う。「森の楽校」「森の音楽会」「夜の虫の音を聞く会」などを開催し、一般市民や子どもたちの自然観察や森体験の場として活用している。

（活動日：第 1 土曜日、第 3 火曜日午前 連絡先 345-6086 野口功）

三吉の森【松戸里やま応援団 三樹の会】金ヶ作字南中 327の1（常盤平駅北口から徒歩 15 分）



三吉の森は、ケヤキとシラカシの巨木が茂る屋敷林を骨格として作られた森である。中には竹林も広がり、イヌシデ、ムク、コナラ、モミヤツガなどの大木もある。下草が豊かな林内には散策路が整備されている。三樹の会は、森の整備の他にも、竹炭作り、竹をつかって花器や正月飾り、竹トンボのおもちゃなどを作る講習会も実施している。

（活動日：第 1 土曜日、第 3 月曜日、第 4 月曜日 連絡先 343-9261 末廣英智）

立切の森【松戸里やま応援団 三樹の会】金ヶ作字立切 258の1（常盤平駅北口から徒歩 15 分）



立切の森は、明るい雑木林である。南側には常緑樹のうっそうとした薄暗い林の自然公園がある。会では出来るだけ雑木林が維持されるよう作業を続けている。道路に沿った小さな森であるが、小鳥たちもよく集まり、ウグイスやコジュケイの鳴き声を聴くことも出来る。明るい林内は比較的植物の種類も多く、いろいろな花や実を楽しむ。

（活動日：第 1 土曜日、第 3 月曜日、第 4 月曜日 連絡先 343-9261 末廣英智）

秋山・高塚地区

秋山の森【松戸里やま応援団】秋山字宿15の1(秋山駅から徒歩10分)



台地部は落葉樹林。西向き斜面の竹林、低地部は畑に隣接した草原。お屋敷の跡地で、クヌギやコナラの巨木のほか、モミジやカキの木なども。池あり、井戸あり、斜面や草原と、変化に富んだ環境で、竹林には散策路も設けられている。まだ整備の途上だが、快適な空間が広がっている。Save the Green のイベント(第2土曜日)には若い家族連れが参加している。

(活動日：第1月曜日・第3水曜日午前 連絡先 345-6086 野口功)

河原塚古墳の森【河南環境美化の会】紙敷116の1(東松戸駅から徒歩10分)



東松戸駅から八柱霊園方面に向かい徒歩で約10分、武蔵野線ガードの手前左側、小高い丘の上に面積は約1 $\frac{1}{2}$ haの古墳敷地があります。第一号古墳から河原塚中学校内に第四号古墳と点在しています。古墳の森広場は、森林浴を浴びながらグランドゴルフも楽しく行われています。

(活動日：第1・第3月曜日13時半から 連絡先 391-6844 高橋清)

小浜屋敷の森【松戸里やま応援団 小浜の森の会】高塚新田93の1(東松戸駅から徒歩15分)



松戸市南部から市川市に連なり、梨畑に隣接する森。マダケ林を伐開した広場を囲む落葉樹林、下の斜面に広がる落葉・常緑混交林と変化があり、70余種の植生が観察できる。広場に記念樹のヤマザクラを植樹し、花木や草花の植栽も進めている。整備活動3年余だが、今後が楽しみな森。

(活動日：第2金曜日・第4木曜日午前 連絡先 090-4436-0428 松田明光)

紙敷石みやの森【松戸里やま応援団 七喜の会】紙敷2の10の1~3(松飛台駅から徒歩10分)



市立松戸高校の南東、北総鉄道との間の森。針葉樹林と明るい広葉樹林とが交互に広がる。江戸時代から大切に守られてきた小さな石の祠“石みや様”が鎮座し、野馬除け土手の跡がある。北総線を挟んで南側にも森が広がっている。

(活動日：第1火曜日・第2木曜日・第4土曜日 連絡先 362-2860 栗田吉治)